



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 芦森工業株式会社

コード番号 3526 URL <http://www.ashimori.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 岳 文雄

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 胤森 秀昭

TEL 06-6533-9253

四半期報告書提出予定日 平成25年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	22,138	8.4	340	—	509	—	△2,061	—
25年3月期第2四半期	20,414	13.3	△235	—	△289	—	△211	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 △1,693百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △448百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	△36.37	—
25年3月期第2四半期	△3.73	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	自己資本比率	%
26年3月期第2四半期	34,122		9,323		27.3	
25年3月期	33,312		11,028		33.1	

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 9,304百万円 25年3月期 11,013百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	47,000	8.5	1,000	378.1	1,000	114.0	△2,050	—	△36.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	60,569,390 株	25年3月期	60,569,390 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	3,894,565 株	25年3月期	3,815,891 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	56,690,371 株	25年3月期2Q	56,703,082 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信[添付資料]P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円高局面の是正による輸出環境の改善や各種経済政策の効果等を背景に個人消費が持ち直すなど、景気回復への期待感が高まりました。しかし、アジア経済の成長鈍化をはじめとした海外景気の下振れによる景気の下押しリスクが懸念されており、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような情勢のなかで当社グループは、各業務プロセスの見直しや調達体制の再構築に取り組み、徹底した合理化を推進するとともに、海外子会社の収益力向上に向けた全社プロジェクトを立ち上げるなど、利益確保に向けた諸施策を実施し、業績の向上に努めてまいりました。以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は221億38百万円と、前年同期に比べ、8.4%の増収となりました。損益面につきましては、為替差益を3億18百万円計上したこともあり、経常利益は5億9百万円（前年同期は2億89百万円の経常損失）を確保することができました。しかし、当社の自動車安全部品事業において過去に製造した製品の一部に不具合があり、得意先の市場回収処置にともない、製品保証引当金繰入額25億37百万円を特別損失に計上した結果、20億61百万円の四半期純損失（前年同期は2億11百万円の四半期純損失）となりました。

以下、セグメント別に概況をご報告申し上げます。

当社は、カンパニーを基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「自動車安全部品事業」「機能製品事業」「パルテム事業」の3つを報告セグメントとしています。

(自動車安全部品事業)

シートベルトおよびエアバッグは、新規車種の立ち上がりによる効果もあり売上が増加し、自動車関連用品(内装品その他)につきましても、海外も含め好調に推移いたしました。

この結果、当事業の売上は174億6百万円と、前年同期に比べ、5.8%増加いたしました。

(機能製品事業)

「エアロール・システム」をはじめとする物流省力化関連商品は、トラック販売の減少にともない、売上が伸び悩みましたが、消防用ホースや水防資材「ジャストップ」をはじめとした防災関連商品につきましては、相次ぐ自然災害対策需要を受け、売上が増加いたしました。

この結果、当事業の売上は24億94百万円と、前年同期に比べ、4.1%増加いたしました。

(パルテム事業)

パルテム工法の各分野につきましては、下水道分野、農業用水分野、電力分野が順調に推移し、売上が増加いたしました。また、緊急排水ホースは、台風や豪雨災害等による国内需要が増加しており、売上が増加いたしました。

この結果、当事業の売上は22億29百万円と、前年同期に比べ、43.0%増加いたしました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は341億22百万円であり、前連結会計年度末に比べ8億9百万円増加いたしました。これは、棚卸資産の増加6億22百万円、投資有価証券の増加1億73百万円などが影響したものです。

負債総額は247億98百万円であり、前連結会計年度末に比べ25億14百万円増加いたしました。なお、正味運転資本（流動資産から流動負債を控除した金額）は△15億9百万円で、流動比率は93.4%となっております。

純資産は93億23百万円であり、自己資本比率は27.3%と、前連結会計年度末の33.1%から低下しております。

②シンジケートローン契約の締結

当第2四半期連結会計期間において、当社は平成24年9月20日付で締結したシンジケートローン契約が平成25年9月19日に契約期間満了となりましたので、引き続き運転資金の安定的な資金調達を目的として、平成25年9月13日付にて新たに株式会社三菱東京UFJ銀行をはじめとする取引金融機関6行と借入極度額100億円のシンジケートローン契約（コミットメント期間平成25年9月19日～平成26年9月18日）を締結しております。

なお、借入金実行残高合計は平成25年9月30日現在、85億円となっております。

③キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、差引き9億28百万円の増加となり、当第2四半期連結会計期間末の残高は40億30百万円（前年同期比43.7%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純損失が19億90百万円があった一方で、製品保証引当金の増加が12億6百万円、未払金の増加が10億38百万円、事業活動に直接関わる売上債権・たな卸資産・仕入債務の収支が1億42百万円の増加などがあり、4億51百万円の資金の増加（前年同期は9百万円の資金の減少）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産取得による支出7億16百万円、投資有価証券の売却による収入1億18百万円などがあり、6億40百万円（前年同期は1億7百万円）の資金の減少となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の純増額20億円、長期借入金の返済による支出10億66百万円などがあり、9億6百万円（前年同期は1億76百万円）の資金の増加となりました。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

平成26年3月期通期の業績予想につきましては、平成25年8月7日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,241	4,211
受取手形及び売掛金	11,043	9,998
商品及び製品	1,683	1,943
仕掛品	2,338	2,756
原材料及び貯蔵品	1,795	1,738
繰延税金資産	185	194
その他	584	622
貸倒引当金	△53	△53
流動資産合計	20,817	21,412
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,613	3,821
機械装置及び運搬具（純額）	2,261	2,299
工具、器具及び備品（純額）	759	729
土地	2,862	2,893
リース資産（純額）	26	20
建設仮勘定	236	170
有形固定資産合計	9,760	9,935
無形固定資産		
投資その他の資産	315	287
投資有価証券	1,478	1,651
長期貸付金	13	11
繰延税金資産	810	706
その他	175	176
貸倒引当金	△59	△59
投資その他の資産合計	2,418	2,486
固定資産合計	12,494	12,709
資産合計	33,312	34,122

(単位：百万円)

前連結会計年度
(平成25年3月31日)当第2四半期連結会計期間
(平成25年9月30日)

負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,410	9,179
短期借入金	8,566	9,500
未払金	829	1,746
未払法人税等	140	65
未払消費税等	38	33
賞与引当金	336	350
防災製品補償損失引当金	360	198
製品保証引当金	—	1,206
その他の引当金	17	13
その他	694	629
流動負債合計	20,395	22,922
固定負債		
退職給付引当金	1,705	1,719
役員退職慰労引当金	112	89
資産除去債務	29	29
その他	40	38
固定負債合計	1,888	1,876
負債合計	22,284	24,798
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,388	8,388
資本剰余金	3,232	3,232
利益剰余金	347	△1,714
自己株式	△719	△730
株主資本合計	11,249	9,176
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	73	241
為替換算調整勘定	△309	△112
その他の包括利益累計額合計	△235	128
少数株主持分	14	18
純資産合計	11,028	9,323
負債純資産合計	33,312	34,122

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	20,414	22,138
売上原価	18,451	19,614
売上総利益	1,962	2,523
販売費及び一般管理費	2,197	2,182
営業利益又は営業損失(△)	△235	340
営業外収益		
受取利息	6	17
受取配当金	14	16
受取賃貸料	10	10
為替差益	26	318
貸倒引当金戻入額	1	0
助成金収入	19	2
その他	10	19
営業外収益合計	90	385
営業外費用		
支払利息	31	34
持分法による投資損失	20	—
賃貸収入原価	11	5
シンジケートローン手数料	57	145
投資事業組合運用損	4	4
その他	19	28
営業外費用合計	145	217
経常利益又は経常損失(△)	△289	509
特別利益		
固定資産売却益	4	—
投資有価証券売却益	133	30
補助金収入	12	11
特別利益合計	150	41
特別損失		
固定資産処分損	16	5
製品保証引当金繰入額	—	2,537
特別損失合計	16	2,542
税金等調整前四半期純損失(△)	△156	△1,990
法人税、住民税及び事業税	34	65
法人税等調整額	21	3
法人税等合計	56	68
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△212	△2,059
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△0	2
四半期純損失(△)	△211	△2,061

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△212	△2,059
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△179	167
為替換算調整勘定	△56	198
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	—
その他の包括利益合計	△236	365
四半期包括利益	△448	△1,693
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△447	△1,697
少数株主に係る四半期包括利益	△0	3

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△156	△1,990
減価償却費	672	677
退職給付引当金の増減額(△は減少)	26	1
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	—	△23
防災製品補償損失引当金の増減額(△は減少)	△512	△162
製品保証引当金の増減額(△は減少)	—	1,206
支払利息	31	34
受取利息及び受取配当金	△21	△33
投資有価証券売却損益(△は益)	△133	△30
有形固定資産売却損益(△は益)	△4	—
有形固定資産処分損益(△は益)	16	5
売上債権の増減額(△は増加)	655	1,250
たな卸資産の増減額(△は増加)	△125	△431
仕入債務の増減額(△は減少)	△244	△676
未払金の増減額(△は減少)	△215	1,038
その他	△32	△421
小計	△42	443
利息及び配当金の受取額	23	33
利息の支払額	△31	△35
法人税等の還付額	76	125
法人税等の支払額	△34	△116
営業活動によるキャッシュ・フロー	△9	451
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	130	133
定期預金の預入による支出	△130	△172
有形固定資産の取得による支出	△764	△716
有形固定資産の売却による収入	7	—
無形固定資産の取得による支出	△0	△4
投資有価証券の取得による支出	△4	△4
投資有価証券の売却による収入	649	118
貸付金の回収による収入	4	2
その他	△1	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△107	△640
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	260	2,000
長期借入金の返済による支出	△66	△1,066
自己株式の取得による支出	△0	△10
リース債務の返済による支出	△16	△15
財務活動によるキャッシュ・フロー	176	906
現金及び現金同等物に係る換算差額	△62	211
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3	928
現金及び現金同等物の期首残高	2,808	3,101
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,804	4,030

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。